

あなたの自宅は大丈夫!?

家具類転倒等防止対策

市民安全課 ☎ 8516072

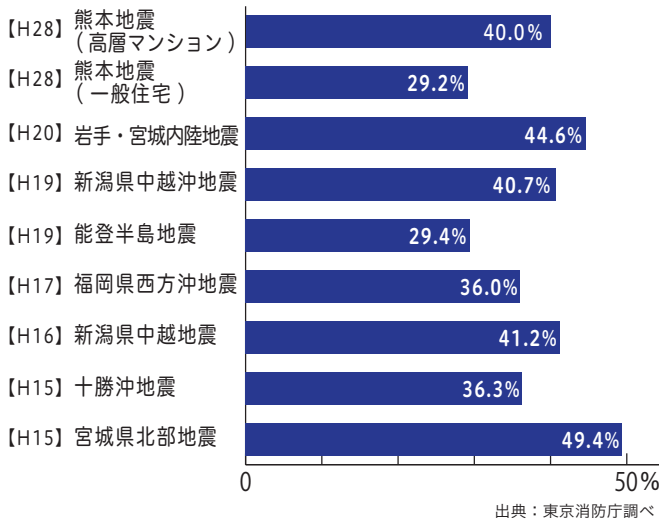
皆さんは、地震が発生した時に備えて、家具類の転倒等防止対策を行っていますか。地震発生時のけがの多くは家具類の転倒などによるものです。自分や家族の命を守るためには、日頃からの備えが大切です。今回の特集では、家具類転倒等防止対策を紹介します。



市政だより



家具類の転倒などが原因となったけがの割合



過去に発生した地震によるけがの要因の約3〜5割が、家具類の転倒などによるものです。

家具類の転倒などがもたらす3つの危険性

地震による被害から身を守るためには、住宅の耐震化と家具類の転倒等防止対策が重要です。家具類の転倒などがもたらす危険として次の3つが挙げられます。

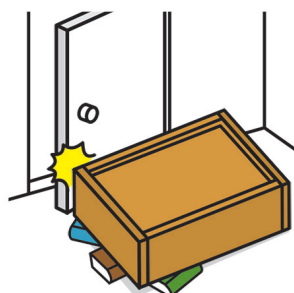
● 「けが」の危険

● 「火災」の危険

家具類の転倒により、電源コードのカバーが破れたり、収納物がストーブなどの火や電気を使用する器具に落下することで、火災になってしまう恐れがあります。

● 「避難障害」の危険

部屋の出入口付近に設置した家具類が転倒すると、扉をふさいでしまい、避難の妨げとなる恐れがあります。



地震が発生した際、家具類は必ず倒れたり、落下したりするものとして考え、転倒等防止対策をしておくことが大切です。

STEP 1

生活空間を見直しましょう

家具類を固定するなどの対策を行う前に、家具類を減らしたり、部屋のレイアウトを工夫するなどして生活空間を見直しましょう。

● 集中収納

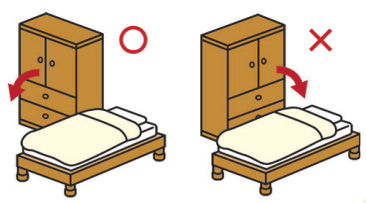
ウォークインクローゼットや備え付けの家具類がある場合は、衣類や日用品などを集めて収納し、**居住スペースと収納スペースを分け**、生活空間にある家具類を減らすことを検討しましょう。

● レイアウトの工夫

家具の配置を見直し、転倒による負傷や避難の妨げにならないレイアウトに変更しましょう。

Point

- ・ 出入り口や廊下には家具類を置かない
- ・ 窓際には大型家具類を置かない
- ・ 高さの低い家具類を使用する
- ・ 寝る場所などでは、家具類が倒れて下敷きにならないようレイアウトを工夫する



STEP 2

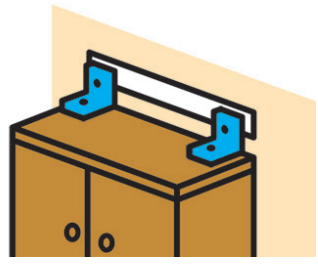
家具や家電製品の転倒等防止対策をしましょう

1 家具の固定 ー 方法は大きく分けて2つ

① ネジを使って固定する方法

■ L型金具

ネジを使って固定する方法のなかで、最も転倒防止効果が高い方法です。



■ ベルト式器具

取り付ける場所や家具の形状に応じて、ベルト式器具を活用しましょう。



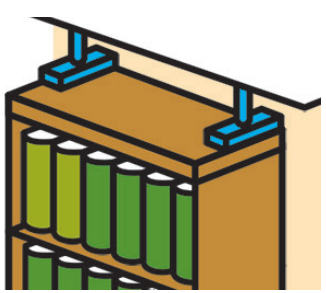
Point

ネジで固定する場合は、**壁裏の下地の柱など**に取り付ける。※壁の下地の柱などの位置は、専用機器などを用いて判断しましょう。

② ネジを使わず固定する方法

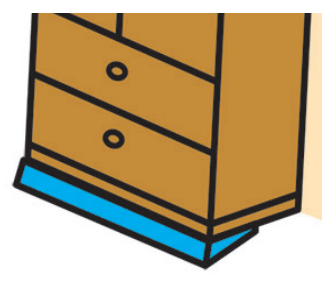
■ ポール式器具

家具と天井との間に突っ張り棒を家具上面の両端（できるだけ壁側）に設置します。



■ ストッパー式器具

家具の下に器具を挟み込んで、家具を壁側に傾斜させて倒れにくくします。



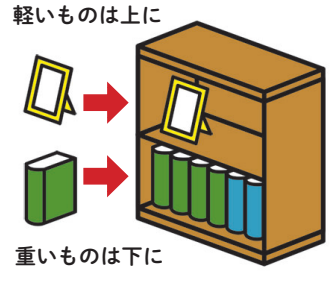
Point

ポール式器具とストッパー式器具などを**組み合わせて使用**すると効果が高い（L型金具と同等）。

二段重ねの家具類は、上下を平型金具などで連結して一体化した上で固定しましょう。

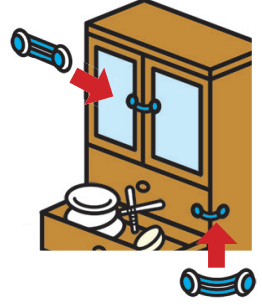
③ その他の対策方法

■ **重いものは低い場所へ**
 重いものを下に、軽いものを上に収納して、家具を倒れにくくしましょう。



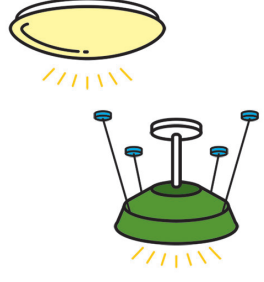
■ 飛び出し防止器具

物が飛び出さないよう、引き出しや開き扉には、飛び出し防止器具を取り付けましょう。



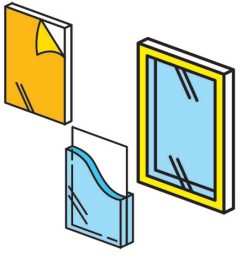
■ 照明器具

吊り下げ式の照明器具は落ちてこないよう、直付き照明器具に交換するか、ワイヤーなどを使い、数か所を天井に固定しましょう。



■ 飛散防止フィルム

窓ガラスは、飛散防止対策済みのガラスに交換するか、飛散防止フィルムを貼りましょう。

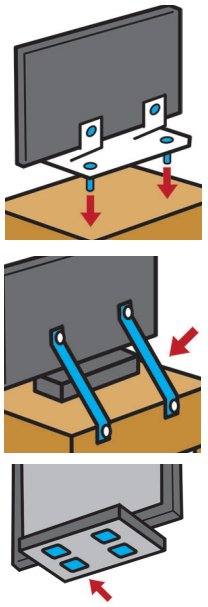


2 家電製品の固定

① テレビ

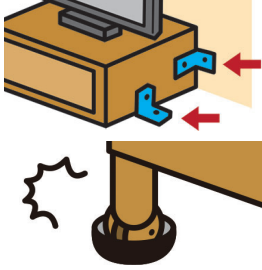
■ テレビ本体とテレビ台の固定

テレビ本体とテレビ台をネジなどで固定しましょう。固定ができない場合、ストラップ式器具や粘着マットで固定しましょう。



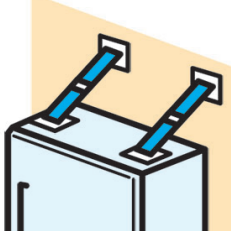
■ テレビ台と壁・床の固定

L型金具やベルト式器具などで固定しましょう。キャスター付きのテレビ台の場合は、ゴム製キャップを付けるなど、転がらないようにしましょう。



② 冷蔵庫

ベルト式器具などで冷蔵庫の上部と壁を固定しましょう。



③ 電子レンジ

電子レンジ本体とレンジ台をストラップ式器具などで固定し、レンジ台は壁と固定しましょう。

小 ← 器具の効果 → 大

転倒防止器具の効果

単独使用

組み合わせて使用

ストッパー式	粘着マット式	ポール式	ベルト式	L型金具
				ポール式 + 粘着マット式
				ポール式 + ストッパー式

【実験概要】

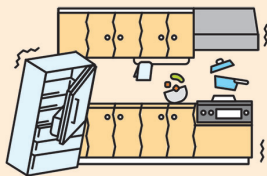
- 食器棚 (高さ 1800mm、自重 65kg、収納物 50kg)
 - フローリング・床
 - 震度 6 強の阪神・淡路大震災時の地震波を使用
- (家具類の転倒・落下防止対策に関する調査研究会 / 東京消防庁)

STEP3

転倒・落下・移動防止対策をチェックしましょう

チェックリストに沿って自宅内を確認し、チェックのないものがある場合は対策しましょう。

- 家具類が転倒・落下・移動しても人に当たったり、避難の障害になったりしないところに置いている。
- 家具類の上に落下しやすいものを置いていない。
- 固定に用いる器具を、家具類の重さや形状に応じて選び、適切な方法で取り付けられている。
- 引き出しや開き扉などから収納物が飛び出さないよう、飛び出し防止器具を取り付けている。
- 照明器具は落下しないよう固定している。または、天井に直付きのものを取り付けている。
- ガラスにはフィルムを貼るなど、飛散防止対策をしている。
- テレビ本体をテレビ台に、テレビ台を壁や床にネジなどで固定している。ネジなどで固定できない場合は、ストラップ式器具などで固定している。
- キャスター付きの家具は、ゴム製キャップを付けるなど移動防止対策をしている。
- 冷蔵庫をベルト式器具などで壁に固定している。



地震の発生による被害を最小限にするためには、家具類の固定方法を正しく理解し、取り付けることが大切です。

壁や家具類などによって適した対策方法は異なりますので、自宅や家具類などに合った方法を確認し、すぐに取り組みましょう。



対策ハンドブック
(東京消防庁)

対策に関するよくある質問

①Q 対策器具の価格や購入先

A 対策器具の価格は種類によって異なりますが、数百円から数千円程度です。家具販売店やホームセンターなどで販売しています。

②Q 対策器具の取り付けに関する支援制度

A 市社会福祉協議会では、市内在住で、自ら器具の取り付けが困難な65歳以上の高齢者のみの世帯などを対象に、対策器具取り付け代行事業を実施しています（器具代は実費負担）。

対象世帯や申請方法など詳しくは、ホームページを確認するか問い合わせください。



市社会福祉協議会
ホームページ

市社会福祉協議会 ☎84・4199

日頃からの備えが大切な命を守る

地震はいつ起こるか分かりません。被害を最小限にするためには、日頃の備えが大切です。市ホームページを参考に、今回紹介した対策のほか、備蓄や自宅の耐震化など、今からできる備えをしましょう。



ID:1004193